

SPOSHIN

公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団 機関誌 スポシン

Vol.45
2023 SUMMER

待ってたよ 夏!!
夏休みはスポシンに行こう!

夏休みはスポシンに行こう!
SPOSHIN夏休み特集 ……1

新体操のコーチが紹介する!
簡単ストレッチ ……5

地域と共に ……4
健康は朝食で作られる! ……6
教室ピックアップ ……7・8
夏のイベント案内 ……9・10



待ってたよ 夏!!

夏休みはスポシンに行こう!



河西プールって こんなところ

河西プールこと河西公園水泳場は、25メートルプールと滑り台が設置された水深の浅い幼児用プールからなり、昭和47年(1972)の竣工より、長年にわたって地域の皆さんに親しまれてきました。7/1(土)には51回目のオープンを迎えます。和歌山県スポーツ振興財団では平成16年(2004)4月以来、皆さんに安心して楽しんでいただくよう管理してきました。令和2年(2020)には、コロナ禍の中でもコロナ対策や時短営業などの工夫をこらしながら営業、令和3年にはゴム素材でプール底面を覆う工事を行い、足裏へのあたりが良いプールに変わりご好評をいただいています。今年は滑り台をリニューアルすることで、お子様に更に水遊びを楽しんでいただける機会を提供します。

暑い夏、地域の子育て世代&三世帯ファミリーの方々に心待ちにしていただいているのが、河西公園の西に位置する“河西プール”です。駐車場から大型カートにクーラーボックスや浮き輪などの荷物を積み込んで来場するのが定番。気になる日焼けを避けるため、プールサイドに簡易テントを立て、ラッシュガードに身を包むのが最近のトレンドとなっています。幼児用プールは水深も浅く、お子様の水遊びにはピッタリ。水に触れたときのひんやりとした感覚や、潜ったり浮いたり全身を目いっぱい動かす感覚など、普段はできないさまざまな新しい体験ができるので、子どもたちも大喜び。元気な声がプールいっぱいにこだまします。小さなお子様にとっては、幼児用の滑り台でもジェットコースターのようなもの。初めて一人で滑れたら嬉しくて何度も繰り返し笑顔でチャレンジ。そんな姿を見守る保護者の皆さんも笑顔いっぱいです。そんな皆様の笑顔を大切に、プール監視スタッフや接客スタッフは、安全安心を第一に、お客様ファーストなおもてなしを心がけています。この夏、多くの皆様のご来場を心待ちにしています。



SPOSHIN宣言!



私たちは、笑顔と優しさをもって、お客様に満足いただけるサービスを提供します。



私たちは各種事業を通じて地域の皆様と共に成長する財団をめざします。



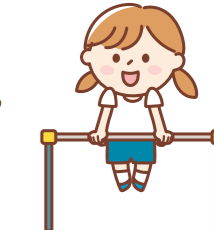
私たちは、一人一人が職務に責任を持ち、チームワークを大切に行動します。



私たちは、お客様に安心して施設を利用いただける高い品質での管理運営に努めます。



夏休み短期教室



夏休みの短期間に集中的かつきめ細やかに鉄棒・とび箱を指導します。動きの習得だけでなく、スポーツにおいて、また集団において必要な約束ごとやマナーなども一緒に学べます。指導者が連携をとり、効率的な指導を行うことで、子どもたちが「出来るから楽しい」「楽しいからできる」のサイクルで次々と技術を習得していける教室です。



サポートレッスン



指導者が責任を持って、生徒本人やお父さん・お母さんの希望に応じて指導する超少人数制&個別指導の教室です。苦手克服・技術向上だけでなく、地域社会での集団生活に馴染めるように親切丁寧に指導を行い、共に成長を目指します。気心の知れた家族や友人だけで受講できるので、日頃遠慮がちなお子様でも安心してのびのびと参加できます。



地域と共に



夏休みサッカー教室



県立体育館では今年もアルテリーヴォ和歌山の選手やコーチを迎え、夏休み期間を利用して地域の子どもたちがサッカーの魅力や運動をすることの楽しさを学び、様々なスポーツに触れるきっかけとして、「夏休みサッカー教室」を開催します。

常設の夕方開催のサッカー教室と異なり、夏休みを活用してお昼の時間に単発で開催します。気軽にサッカー体験を楽しめるので、あまり運動になじみのないお子さまでも気負わずに運動を始めるきっかけとしてピッタリのイベントです。

サッカー未経験者でも大歓迎!身体を動かし、運動経験に繋げ、コーディネーショントレーニングで運動能力UP!



参加対象は小学生でサッカー未経験者でも気軽に参加できます。昨年は子どもたちが運動することを楽しむため、最初にコーディネーショントレーニングとして、ステップワークやチームワーク等が必要となる特別な鬼ごっこを行い、サッカーを楽しむために「ボールフィーリング」と「観ること」に絞り込んだメニューを設定し、ドリブルやパスを繋げていく練習を行いました。最初は上手く出来なかったことでも、出来ている人の動きを観る。そして、挑戦を続けることで「出来るようになった!」という達成感とサッカーの魅力を学ぶことができるイベントとしてご好評をいただいています。
※コーディネーショントレーニング…脳から「身体を動かす」指示や調整し運動経験を身につける事で、運動能力向上を目指す訓練。

夏休み特集はいかがでしたか?

スポシン(和歌山県スポーツ振興財団)では職員一同、記事内にちりばめた「職員行動指針」(「私たちは～」で始まる文章)を胸に、教室やイベントに参加・施設を利用される皆様をお出迎えします。夏休みは是非、スポシンに来てくださいね!



馬とのふれあい体験会



令和5年3月12日(日)コロナ渦の影響により3年間中止となっていた「馬とのふれあい体験会」を、松江緑地多目的運動広場で開催いたしました。
ライディングクラブ グリーンオアシスの協力を得て、ポニーとサラブレッドの2頭の規範乗馬や引馬体験、ふれあい体験を実施。引馬体験では約100名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。



ウォーキング大会



令和5年4月2日(日)河西公園で西脇・松江・木本・湊の各連合自治会及び日本製鉄株式会社関西製鉄所の協力を得て、河西公園児童遊園地から本脇グラウンドを折り返す約4kmのウォーキング大会を開催しました。
マスクの着用が個人の判断に委ねられるようになって初めての大きなイベントでしたが、約300名の方にご参加いただき、花びらが舞う桜並木道のコースを思い思いに楽しんでいただきました。



まち歩き隊



まち歩き隊は平成28年から行っている活動です。「私たちの町をゴミの無いきれいな町にすること」,そして「健康増進」を目的として、地域の方々と県立体育館の職員と一緒にウォーキングをしながら近隣地域のゴミ拾いを行いました。今回(令和5年5月13日)はあいにくの曇り空でしたが、県立体育館前にお集まりいただいた20名の方とラジオ体操を行い、楽しく交流を深めながら中之島区域を歩き、たくさんのゴミを集めました。



和歌山県立武道館 照明LED化



和歌山県立武道館では、1969年(昭和44年)の開館以来、皆様の安全安心な施設利用のための維持保全だけでなく、時代の流れに合わせたバリアフリー化やユニバーサルデザイン化など、様々な取組を行ってきました。これまで和歌山県へ要望してきた照明のLED化が昨年度末に決定。令和5年3月1日に武道場内の蛍光灯照明がLED照明となりました。LED化で更に快適に、そしてSDGsへの取組も進めた武道館。皆様のご来館をお待ちしています。

和歌山保健医療学部では
同一学部内に2学科を置くことにより
チーム医療の基礎となる
多職種連携教育
を柱とした
ケアマインド教育
を目指します

リハビリテーション学科
理学療法専攻 定員 60名

リハビリテーション学科
作業療法専攻 定員 40名

看護学科 定員 50名

QRコード

宝塚医療大学 和歌山保健医療学部
〒640-8392 和歌山市中之島2252 TEL: 073-494-5000 Mail: winfo@tumh.ac.jp